



大和歌記

六

□ 12
2941
6



大和家礼卷之六目錄

中一 虞祭之事

中二 禘祭之事

中三 小祥の祭之事

中四 大祥の祭之事

中五 禫祭之事

中六 改葬之事

中七 他事として死して久しきを葬る事

葬之事



12
2921
6

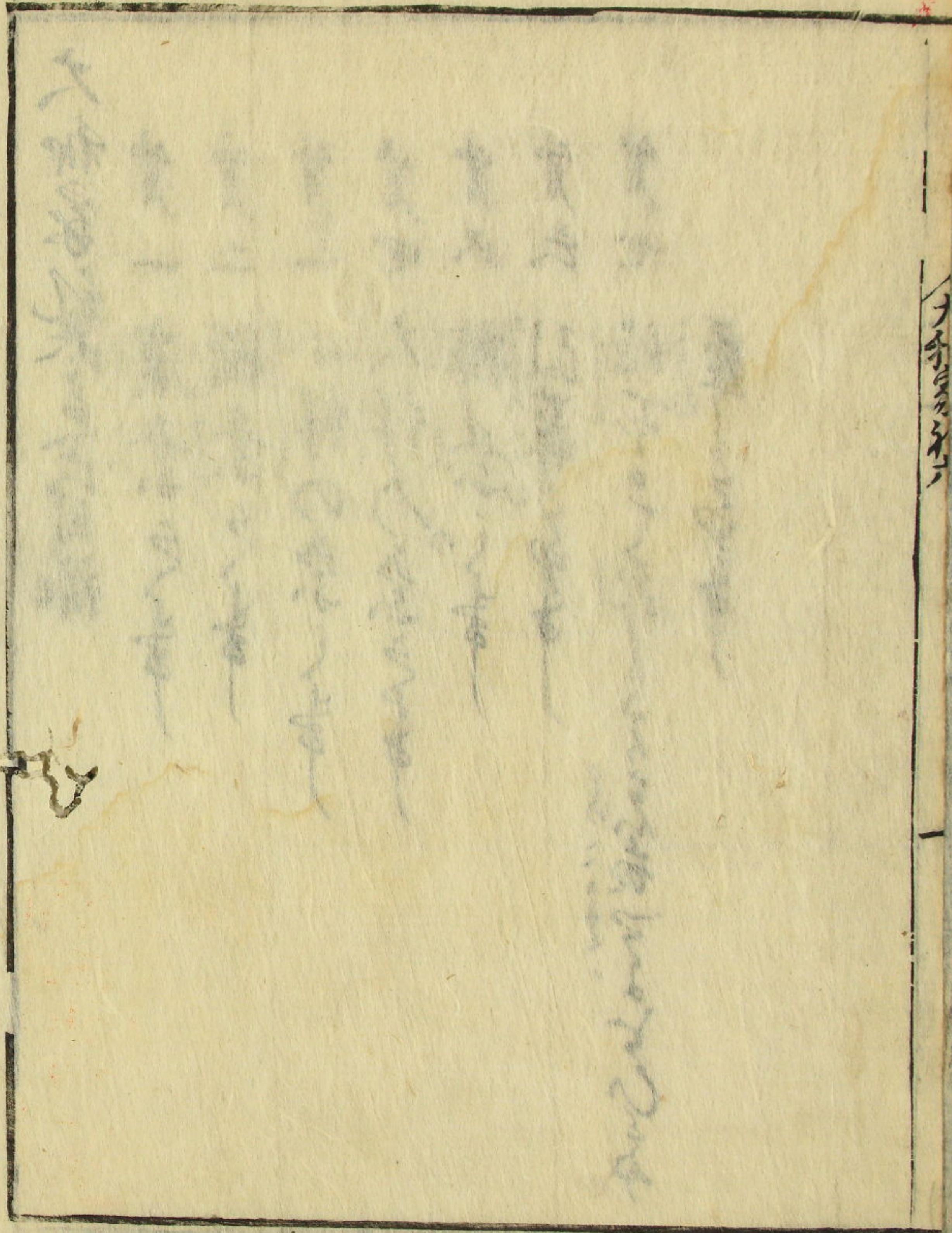


大和家礼の巻

中一 虞多あらし事

一 葬 子日乃日中 小虞乃まうりとはゆ也。あらし
ハ 墓とて日中ゆは。その日のうらあれハ 晩ては
す多也。あらしとわく一 宿をふりしとて
墓地あり。初虞の糸を館ありてあらし也。
虞ハ 安くしらん也。骨肉ハ ちよとて。魂氣ハ
ふらとあらし。孝子乃ん。とてあらし。あらしの儀
ふるさやうらゆ。とてあらし。あらしとてあらしと
とんごら也。墓壇ハ 乃ん。あらし。館ありてあらしと
不也。他人乃家とて。あらし。あらし。あらし。あらし。

去
五味均平蔵



と此等乃西之玉。踏乃標子と東よどん。美
を踏乃標子のひび。玉を踏と海老のあり
とあり。又二約ありて。唐糸とよふとたり。を
標とす。ひるやうふとあけてとせ也。又二約
ありて。踏。菜をさつとつ。標。又二約ありて。果。整
つ。標。又卓。乃あり。別。乃卓。一。脚。と並て。柱
想と並あり。丘。腰。山のり。ふ。右。標。と。その
ふ。礼。い。古。礼。ふ。ろ。と。ゆ。う。ろ。と。也。の。今。年。乃
と。此。世。俗。乃。ま。う。つ。ふ。卓。面。と。り。ら。も。あ。は。し
いらんや。卓。面。の。花。を。は。の。平。生。り。ら。も。ふ。の
されど。平。生。乃。思。物。と。て。是。等。ふ。あ。ま。中。結。る。下。

卓。面。は。飯。菜。と。ひ。も。は。と。の。卓。也。お
ふ。乃。の。心。を。お。つ。ふ。ふ。り。存。生。小。は。り。言。う。ま
一。と。つ。ふ。乃。心。と。ぬ。え。ん。と。つ。つ。な。に。祝。神。と
と。と。な。り。あ。り。て。ま。今。下。み。あ。入。て。笑。と。あ。り。
ま。人。あ。ら。び。も。先。身。柱。と。つ。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。也。
あ。ら。び。あ。ら。び。の。た。み。あ。入。て。あ。ら。び。乃。あ。ら。び。と。笑
するに。み。あ。ら。び。と。つ。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。也。
た。乃。あ。ら。び。と。あ。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。也。
居。か。り。と。あ。ら。び。は。う。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。也。
婦。人。の。あ。ら。び。に。年。乃。長。初。と。此。中。と。ま。あ。ら。び。也。
の。あ。ら。び。乃。あ。ら。び。と。あ。つ。と。あ。つ。と。あ。つ。也。

此の書あり。これすや。はけ米乃之飲の礼と申こ
 りあり。その書より。卒突の書。附の書あり。
 も。之飲の礼あり。みおぼしくあり。その書は下
 物。飲乃の礼。主人酒。酒乃あり。車。乃あり。その書。
 酒。酒。その書。あ。よ。び。ひ。ま。り。こ。概事。の。書。一。人。の。書。在
 の。書。此。第。一。乃。酒。酒。と。申。して。主人。此。乃。は。酒。
 あり。主人。酒。と。概事。此。乃。酒。酒。と。申。して。主人。
 酒。酒。酒。酒。と。申。して。主人。酒。酒。酒。酒。と。申。して。主人。
 酒。酒。酒。酒。と。申。して。主人。酒。酒。酒。酒。と。申。して。主人。

大和家記

此の書第一の書あり。はけ米乃之飲の礼と申こ
 りあり。その書より。卒突の書。附の書あり。
 も。之飲の礼あり。みおぼしくあり。その書は下
 物。飲乃の礼。主人酒。酒乃あり。車。乃あり。その書。
 酒。酒。その書。あ。よ。び。ひ。ま。り。こ。概事。の。書。一。人。の。書。在
 の。書。此。第。一。乃。酒。酒。と。申。して。主人。此。乃。は。酒。
 あり。主人。酒。と。概事。此。乃。酒。酒。と。申。して。主人。
 酒。酒。酒。酒。と。申。して。主人。酒。酒。酒。酒。と。申。して。主人。
 酒。酒。酒。酒。と。申。して。主人。酒。酒。酒。酒。と。申。して。主人。

大和家記

衰つてまばらさすまらさす下めりあす。是まて
と初唐れまらつらとまあり。

一 再唐乃まらつら初唐の目れは柔日よあつてまら
まらつらあり。柔日とは乙巳辛未乃日とつて
おららると実物とつて縁縁とつての人のまの目
乃再唐つらわつてあつてやつて野菜菓子
酒無とつてつて。再唐乃礼とつてあつてあり。別
つらつてあつてつてあつてつてあつてつてあつて
一 再唐の目入つてつてつて。初唐乃まらつらあつて
け目入つてつてつてつてつてつてつてつてつて
乃他はとつてつてつてつてつてつてつてつてつて

ありあつてつてつてつてつてつてつてつてつて
又とつてあつてつてつてつてつてつてつてつて
先。給事とつてつてつてつてつてつてつてつて
一 三唐乃あつてつてつてつてつてつてつてつて
つてつてあり。別日とは甲丙戊庚壬乃日とつて
あつてつてつてつてつてつてつてつてつてつて
つてつてつてつてつてつてつてつてつてつて
三唐乃目のまらつらやつてつてつてつてつて
あつてつてつてつてつてつてつてつてつてつて
まらつらあつてつてつてつてつてつてつてつて
再唐乃礼とつてつてつてつてつてつてつてつて

茅酒の祝ふところの儀はひくし神主とあ
 一哀とわけ哀とけりこれら神と儀は主人
 多とあけい書案のあつてはひくしひくしと
 香とたて酒と酌て茅酒此とよかふも礼
 おしてたてふり又さあて主人の者ともい
 多めの新米の食ともいふ又主人のあつても儀
 多ぬハ飯ともいふ也。
 一初献の礼祝通ひ二人の儀也。祝ふは
 多をのちよてつてひくしと酒と梅つる
 酒と眞とひくした祝事のもつて神主の
 了とてはひくしと儀也。

みかひと梅つる。祝事又つとて主人の
 りもとれ。あけいひ祝事とよて儀つて
 のちよとてあつてはひくしと主人の
 多りふ笑し。哀おつてく礼ねとあ。主人の
 一ね一せりとてはひくしと主人の
 一重献の礼祝事又つてはひくしと
 酒と眞とひくした祝事とあ。主人の
 くれ卒哭重献の礼あり。
 一終献の礼祝事又つてはひくしと
 酒と眞とひくした祝事とあ。主人の
 合とてはひくしと主人の
 合とてはひくしと主人の

神祇類聚

へつふさうらふとてさうてさ。ゆふあせり概事乃
 きののぢやとてあてまへん以下さしお笑しとと
 ねとれし喜おりりこのくらね又とやと神
 主と横りねと先膳をあげとれ終る。
 一卒突統文の式はたつ方履茶とねの
 うてたぐと履と卒突とわくた先履茶成
 事ととと字のりふ本日附干祀考其官
 府若尚御食とと字とととあり。祖考とハ
 亡と乃た名は祀考あり。
 一卒突乃女家の様は。約々あ方外少は意つ

此大突きば。約々あ方なり突する也。

才二附乃あ此事

一附とは右の神主と左祖乃神主ふあゆを
 つふ也。父乃神主父乃祖考よ附し。母乃神主
 母乃祖妣よ附り。父と附と母と附は祖
 考祖妣の二人の意位とあり。母と附と母
 何れ。祖妣つり乃意位と母つる也。一
 さまのはたれととと接とつるなり。
 喪を括然りてらと時は括然つりてと
 一神と一神と一神と一神と。喪を括
 然りてとととと。外家よ者つるは。括

事あり。縁根のまへへ、東乃少降乃降るんご
うり。附位乃ひかひ。二乃まうまうり。しんかんたり。
一卒突のゆる日。附のみありとふあり。卒突の
まうり。杖杖具とあげと。附乃まうりの黒物とつ
ら。縁根とまうりのあ日。あり黒物と祠堂よつ
ねう。よあ。祠堂せつととれよ。廣るる中。にんつ
福と、又と附ととれ。父乃祀考。祀世の二人。あ
雲位と。祠堂乃高。半しよみ。あむじき。にま。あも。
七志乃。雲位と。その東南。う。あむじき。にま。あも。
あり。あ。母と。附と。う。と。と。祀世一人の雲位と。と
七志乃。雲位と。ま。あ。け。縁と。と。あ。あ。半。と。と。雲位

あつに。卓一。脚と。ま。又。も。葉乃。う。り。ふ。卓一。後
と。ま。と。ま。う。り。う。け。と。超と。ま。祠堂。此。肉の。東乃
ま。と。は。あ。の。あ。ふ。内。筋。あ。つ。ひ。よ。ま。筋。筋と。ま。あ。の
と。は。あ。つ。は。あ。の。あ。つ。筋。湯。筋と。ま。あ。の。あ。半。突
の。祀と。あ。あ。つ。祠堂。と。と。附乃。ま。う。り。と。あ。あ。あ。
と。ま。あ。は。卓一。脚と。あ。乃。さ。と。は。あ。の。あ。あ。ま
て。ま。あ。の。う。り。筋。と。ま。あ。の。あ。筋。の。あ。う。り。と。あ。
あ。あ。つ。に。あ。卓一。脚と。あ。此。筋。乃。ま。あ。と。あ。あ。あ。
一の。卓乃。う。り。あ。筋。考。祀世。乃。掃と。ま。あ。二の。卓
あ。は。筋。と。此。筋。と。ま。あ。あ。新。ま。と。は。今。附と。あ。
七志乃。あ。あ。つ。筋。と。と。あ。あ。あ。卒。突。の。ゆる

大和歌九

十三

日禰乃ヒメノまつりまつりととまふまふ約約りりつつつつてて。ととややをを
祀祀まますす。聖サハヤ業ノ酒サカベ饌ノととままううるる也也。ととはは身ミ年トシ卒ス突ツ
ととぬぬめめ。ととぬぬままんんをを身ミ年トシ卒ス杖ツエととりり。ととぬぬままのの
おおよよつつつつてて笑ウツ。哀アハレととああ。ととぬぬままよよととぬぬままよよ
里サト祠イハヒ堂ドウよよつつつつてて神カミままととりりつつつつてて雲クモ
停トりり。ととぬぬままのの身ミ年トシ卒ス杖ツエののおお
りりつつつつてて笑ウツ。ととぬぬままよよととぬぬままよよ
里サト祠イハヒ堂ドウよよつつつつてて神カミままととりりつつつつてて雲クモ
姑ハハ乃ノ横ヨコととりり。ととぬぬままよよととぬぬままよよ
ままわわららししととぬぬままのの身ミ年トシ卒ス杖ツエののおお
若ワカ乃ノ君ミコりりてて礼レイととぬぬままよよととぬぬままよよ

七

つつつつてて神カミままととりりつつつつてて雲クモ
乃ノととぬぬままのの身ミ年トシ卒ス杖ツエののおお
祀祀姑ハハ乃ノ横ヨコととりり。ととぬぬままよよととぬぬままよよ
卓タク此コノ乃ノととぬぬままのの身ミ年トシ卒ス杖ツエののおお
一ヒトつつてて靈レイ位イよよつつつつてて神カミままととりりつつつつてて雲クモ
かかつつつつてて雲クモ乃ノととぬぬままのの身ミ年トシ卒ス杖ツエののおお
乃ノととぬぬままのの身ミ年トシ卒ス杖ツエののおお
ととぬぬままのの身ミ年トシ卒ス杖ツエののおお
一ヒトつつてて靈レイ位イよよつつつつてて神カミままととりりつつつつてて雲クモ
妻メノ乃ノととぬぬままのの身ミ年トシ卒ス杖ツエののおお

天部集九

十四

八

哀おりの。祝禮とあり。西乃階の方乃卓此
よりよき。積どし。わつと。神まじとわが。
唐よりまふ。事垂てふ。と名乃。多二位乃ら。く
あり。実。祝礼なり。とあり。と此の。事まじ。母。祝禮
より。わつと。を。く。名乃。わつと。と。神まじと。じ
と。より。は。名ま。今。下。弟。弟。の。く。く。ま。た。し。祝。禮。と。ま
ま。じ。う。実。事。ま。祝。礼。う。て。た。ま。い。し。時。は。祝。礼。ま
姉。ま。の。階。の。り。う。居。て。事。ま。の。祝。礼。乃。ま。り。
居。ま。母。の。祝。礼。弟。乃。ら。居。ま。也。名。祝。礼。事。
く。の。時。は。ま。母。無。献。の。礼。と。ま。り。し。祝。礼。乃。身
の。終。献。乃。礼。と。ま。り。ま。也。名。祝。礼。乃。身。ま。り。な。ふ。

ま。と。此。の。事。ま。無。献。乃。礼。と。ま。り。し。無。母。終。献
乃。礼。と。ま。り。の。事。り。は。時。も。初。献。無。献。終。献。と
し。と。度。乃。礼。と。ま。り。し。く。食。と。ま。り。祝。礼。神
と。ま。り。神。ま。じ。と。う。け。く。り。し。乃。名。位。ま。り。ま。
ま。の。中。を。名。位。で。名。乃。と。く。脈。と。ま。り。の。名。
り。ゆ。り。う。う。く。の。う。名。は。母。り。男。の。東。乃。母。
の。名。乃。名。は。名。ま。人。祝。礼。う。て。た。ま。い。し。と。此。の。祝。礼
ま。り。と。ま。り。と。ま。り。ま。人。祝。礼。乃。名。の。母。り。と。祝。礼
と。事。な。り。名。長。き。人。の。名。祝。礼。を。名。乃。祝。三。祥
し。神。と。ま。り。し。と。ま。り。し。香。果。乃。名。乃。の。つ。ま。り。
ひ。ま。り。つ。ま。り。名。と。た。ま。酒。と。ま。り。と。祝。礼。祝。禮。と

其の如くて。祝事乃ち其の如くたすべし。其の如く也。
 一物献の礼。祝祖考の靈位の前より。ついでに。ひご
 まらぐ。酒とまらり。酒と奠。と奠とあり。母と
 附する。祝事。祖考と母。ひご。ついでに。祖妣乃
 靈位の前より。ついでに。祝事。酒とまらり。酒と
 奠。と奠とあり。祝事。ついでに。時。主人。今。下。下。下。下。
 ひご。ついでに。祝事。付。ついでに。祝文の板と撰。く。
 主人の。今。ついでに。ひご。祝文。と。ついでに。撰。
 おり。ついでに。主人。ひご。祝事。と。祝事。祖考。靈
 位の前より。ついでに。ひご。酒とまらり。酒と
 奠。と。奠とあり。ひご。祝事。と。ついでに。ひご。

おひご。ついでに。祝事。祝文。の。ついでに。主人。祝
 乃。ひご。祝事。ひご。祝事。祝文。と。ついでに。ひご。

一。無献の礼。祝祖考の靈位の前より。ついでに。祝
 事。酒とまらり。酒と奠。と奠とあり。之。祝事。乃
 靈位の前より。ついでに。祝事。酒とまらり。酒と
 奠。と。奠とあり。又。祝事。祖考。靈位の前より。つ
 いでに。ひご。酒とまらり。酒と奠。と。奠とあり。

此。と。ついでに。

一 終献乃礼。其儀式大方無献と称す。概制
 の末海ほとらと書くとに海とらと主婦ハ
 業とそり人統神と海とそねり。統文とや
 と神ととねとらとらとらとらと神考祖妣と食中
 りねと先代よとそれ神とと海乃とそらと
 の阜のらふ物と先と新とと書きたまう。
 主人と下とみあ哭してとらとらとらとらと
 哭し神ととらとらとらとらとらとらとらとらと
 して終献乃礼おらとらとらとらとらとらとらと
 妣とらとらとらとらとらとらとらとらとらと
 人とらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと

何よかつて西のまうりあふ阜にたると新とと
 とらとらとらとらとらとらとらとらとらとらと

一 禘乃祭統文の式は

冬 禘 維年歲次月朔日辰考孫某饋以潔牲

柔毛潔粢盛醑齊一適於
 願曾祖考某官 府君 附孫某官 尚迎會
曰剛 祭用羊 必剛 曰柔 毛剛 祭用

母と禘すハ 維年歲次月朔日辰

顯曾祖妣某封某氏 附孫婦某封某氏

尚迎會

亡者少 維年歲次月朔日辰

大司馬

夜

藤^{フジ} 附^{ツケ} 事^{コト} 干^{ツグ} 先^マ 考^{カウ} 府^フ 君^{キミ} 某官 某氏 府^フ 君^{キミ} 某官 某氏 尚^{ナウ} 御^ミ 禮^レ

頭^{カウ} 考^{カウ} 某^カ 官^{クワン} 府^フ 君^{キミ} 某官 某氏 尚^{ナウ} 御^ミ 禮^レ

才^{サイ} 三^{サン} 小^コ 祥^{シャウ} の 事^{コト} 乃^ニ 事^{コト} 一^{イチ}

一 小祥とばげど先考の忌月あり。此を正月より千
二月目乃忌日小あつて小祥のまつりごと
あり。この内は同月あり九月敷又へうぐん世傳の
以^ヨ 一^{イチ} 周^{シュウ} 忌^キ とつたはこれあり。そまらた先考の
妻^メ とつてひふ人いづ月よりつて妻と除^{ノゾク}
あり。すこふ妻とどのをまてと小祥のまつり
ふふ何は妻と和^ワ 也。此瘦山のつたは古

前^{マエ} 考^{カウ} 某^カ 官^{クワン} 府^フ 君^{キミ} 某官 某氏 尚^{ナウ} 御^ミ 禮^レ
大^{ダイ} 祥^{シャウ} もあつて事^{コト} 也。又^{マタ} 之^シ 家^カ 小^コ 親^{シン} 礼^レ のつらひ月
つてあつて妻乃主人と事^{コト} 小^コ 夫^フ 主^{ヌシ} 事^{コト} 夫^フ 主^{ヌシ} のあり
け月よりつてあつて此を月よりつて妻と
めどつとつた先考の先考の主人と事^{コト} 一^{イチ} 突
して事^{コト} 也。又^{マタ} 之^シ 家^カ 小^コ 親^{シン} 礼^レ のつらひ月
前^{マエ} 考^{カウ} 某^カ 官^{クワン} 府^フ 君^{キミ} 某官 某氏 尚^{ナウ} 御^ミ 禮^レ
先^マ 考^{カウ} 某^カ 官^{クワン} 府^フ 君^{キミ} 某官 某氏 尚^{ナウ} 御^ミ 禮^レ
とあつて。主婦の女子あつて。猶^{ナウ} 金^{キン} 事^{コト} 也。又^{マタ} 之^シ 家^カ 小^コ 親^{シン} 礼^レ のつらひ月
り勢^セ 儀^ギ の用^{ヨウ} 事^{コト} 也。又^{マタ} 之^シ 家^カ 小^コ 親^{シン} 礼^レ のつらひ月
も形^{カタ} 事^{コト} 也。又^{マタ} 之^シ 家^カ 小^コ 親^{シン} 礼^レ のつらひ月

男ハ練服と云くして。とまて。きり。さうり。要服
乃首経負服辟邪。意とのぞき。婦人ハ。練服
と云くあり。期ノ妻と云く。し。家人ハ。月者。練服
と云く。たけ。月ノ。ちり。まて。か。ら。り。と。る。練服
物。お。ひ。ふ。ま。と。の。練服。と。云。く。し。か。り。練服。と。は。練服
キ。ハ。練布。の。練服。と。云。く。し。か。り
一。小。祥。忌。日。の。あ。さ。け。や。く。む。を。て。野。上。の。儀
その。の。せ。ん。と。ま。の。ふ。そ。の。あ。さ。ひ。を。卒。哭
と。わ。け。し。ま。あ。り。多。期。く。あ。ゆ。く。あ。ん。あ。ゆ
と。り。の。ご。と。ま。い。ん。と。下。へ。と。哭。し。の。ご。と。り
先。の。一。練。と。ま。い。ん。と。あ。り。ふ。て。衣。服。と。ま。い。ん

又ハ。哭。し。練。と。云。く。し。か。り。然。の。礼。と。云。く。し。か。り。食
と。ま。の。て。神。と。ま。い。ん。卒。哭。の。儀。法。と。云。く
か。し。祝。ま。づ。神。と。ま。い。ん。と。あ。り。ま。い。ん。下。期。の。妻
は。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん
杖。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん
と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん
へ。て。衣。服。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん
と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん。と。ま。い。ん
哭。と。云。く。し。か。り。也。
一。小。祥。の。系。祝。文。の。式。法
維

六和家九

十九

○○年歲次月朔日辰
 及小祥一夙與東處小心長忘心不惰
 此哀慕ふ寧敢用潔牲柔毛潔盛
 醴齊薦はき事平尚飨

一は月ありと約りあるなり笑とやめくたが朝日
 日の真とそめの中とこ笑すとすまもさ妻和と除
 ざふものへ事りと笑しとばあらりとど先と
 菓子乃教と念あり

弟四 大祥の条乃事
 一大祥は月二乃三月あり死を月あり二十
 六月日乃忌日小あつとて大祥の条とらる也

一は月ありと約りあるなり笑とやめくたが朝日
 日の真とそめの中とこ笑すとすまもさ妻和と除
 ざふものへ事りと笑しとばあらりとど先と
 菓子乃教と念あり
 弟四 大祥の条乃事
 一大祥は月二乃三月あり死を月あり二十
 六月日乃忌日小あつとて大祥の条とらる也

大和家集

次ぐ神主とすつととすつととと相堂小若也
若物とつわらふと一の若を懸礼より朝日若
儀式入る者もまの御子御一脚とと
いぐ小若をさうな降水白粉あつひの西刷子
筆硯とを重ありつと主に入下相堂の若
つと主の御牙乃とく若若く祀多とわひの積
とひと主祖の神主と御と若と御と御と御と
降し多とわひの香奠乃あつとつととひさま
つと主とたさ酒と若酒の懸よそふみと
とつかし主人酒酒と若酒と若酒と若酒と
ありありとととととととととととととと

若てとらねとれと主場ハ我府よりなりと
てととて居てみふひの若づく時祀の若づく
祀文とつと積おりのとらねと主人とと
名祖乃神主と阜乃ととととととととと
を乃あつたひとととととととととととと
て乾とつ祀あ系神主とは若少とととと
かりよ阜乃のとととととあり。祀とととと
我がも四代とあつてとつととととととと
まつととととととととととととととと
神主と相堂よ入系時とわつととととと
とに名祖と代りおふ時は又代とあとの神主

とねのそと。ゆりたのりすぎと。裏すう
はじとそと。治りたの神とあつた先記。
もと結書ふふつけて。曾祖考曾祖考
祖考高祖考とあつた先。又祖考祖考と曾祖
考曾祖考とあつた先。又考考と祖考祖考と
あつた先。右は家系あり。曾祖考あり。また
あり。我父より。小豆代あり。高祖考あり。また
らば。治りたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先

とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先
とそと。ゆりたの神とゆきと。なはる先

〇〇年歲次月朔日辰考法某故昭告

干

某官府君

某氏某封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

某官府君

某氏其封

酒果用伸皮告尚 迎食。

右乃祝文よた官封氏よりと書きて高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考高祖考

乃倣式と申ゆ。其の事なりて。母なる。死する
 とに。父と妻のまゝに。はゆる。なると。祖母の横
 り。附して。神主と。なり。し。り。つ。と。つ。父。死。を。心
 のり。よ。つ。と。た。の。神。主。と。つ。と。一。と。昔。り
 乃倣式と申ゆ。ば。付。は。た。の。祝。文。は。あ。ら。大。禊。忌
 届。乃。下。と。後。由。入。廟。と。の。り。及。先。姑。某
 封。某。氏。先。元。附。干。祀。妣。と。云。字。と。増。入。ふ。り。
 乃。父。名。と。死。して。と。も。不。祀。堂。の。を。て。の。り。母
 死。する。と。に。い。ふ。先。考。の。神。主。り。り。不。若。り。あり。
 ば。付。乃。祝。文。は。茲。以。先。妣。某。封。某。氏。大。禊。忌
 届。礼。由。附。干。先。考。並。享。之。禊。忌。檢。と。申。也。

六

と。申。わ。る。に。乃。父。い。お。し。た。め。也。

一。乃。祝。文。乃。祀。る。と。付。は。祝。文。よ。左。の。く。く。と
 お。り。り。と。神。主。と。あ。り。た。び。り。也。婿。名。と。り。り。ふ。
 倣。式。と。い。へ。く。して。先。祖。の。神。主。と。せん。ぐ。り。ふ。あ。の
 食。と。り。り。東。の。一。此。食。と。あ。け。を。を。わ。ら。し。し。こ
 神。主。と。入。る。也。乃。祝。文。乃。祀。る。と。付。は。左。の。し。
 乃。先。祖。の。神。主。と。右。の。あ。り。り。と。神。主。と
 暮。ら。し。む。い。へ。ん。又。主。人。乃。た。り。は。祝。文。乃。り。り。也。
 祝。文。乃。り。り。の。ま。ご。祝。文。乃。り。り。の。ま。ご。祝。文
 乃。右。の。ま。ご。の。あ。り。り。と。神。主。と。祝。文。乃。り。り。の。ま
 ぐ。り。り。と。申。也。祝。文。乃。り。り。の。ま。ご。祝。文。乃。左。の。ま

六

とくつひおひりて。主親あつた神主と東階西階
れりしうづむあり。

一 大祥の志目乃約くやせそて礼文とわらふす。
みか少祥の儀式のさく。終りて。祝あはしし
神主と祠堂へ入ふ。主親身主今下あひり
座すより起して。二款の礼とわらふすを免
か小祥とわらふ。三款の礼にりて。意とわけ
祝文とやと。祝あはしし神主とさげと祝
堂へ入る也。主今下哭して。あはしし祝文に
つと。あはしし神主と横へ入る也。て礼文
一。礼文終る也。

一 大祥のまはり。祝文乃式法。大も小祥の祝文を
わらふ。少祥の祝文乃由。少祥とさ字と大
祥とわらた先。さ字と祝文とわ
らひふとらふ利。

一 大祥のまはり。志目乃約くやせそて礼文とわらふす。
よりと屏乃わらふとらふあり。
一 日自志目と暮乃さくくわらひ也。進まは
家あ寄りしつと。つり小卓子乃さよと祭
親をさくめせらふ乃神主とさ也。大祥のまはり
つすさこのら。是れとら。祝文とら。のあま
一 儀式毎月朔日の儀式とわらふすあり。

卓子と並に主人親戚あり。神主と卓子と並に
 とも。法乃あり。並に。祝ふ。祝ふ。祝ふ。神と
 一。も。あり。ひ。も。果。乃。ま。よ。つ。つ。そ。ひ。ま
 つ。も。と。た。と。酒。と。第。乃。酒。く。そ。と。又
 ち。お。と。あ。い。ま。い。酒。と。そ。の。ま。い。の。茶。と。そ。の
 一。て。ま。い。に。祝。ふ。ま。い。の。産。よ。う。て
 祝。ふ。と。い。ま。い。の。産。よ。う。て。又。と。あ。
 祝。ふ。と。や。ま。い。の。祝。ふ。此。ま。い。の。産。よ。う。の。せ。
 主人。つ。つ。ま。い。て。果。乃。よ。う。つ。祝。ふ。と。い。ま
 づ。と。あ。り。と。い。ま。い。の。産。よ。う。の。せ。
 一。果。乃。の。祝。ふ

維
 〇〇年歳次月朔日辰若玄孫某敬服
 告
 之世祖考某官府君
 祖妣某氏某封。古人制礼。祀也。冥代
 心。難。言。之。所。分。別。つ。つ。祝。ふ。神。主。隨。親。ふ
 務。盡。捨。禮。以。酒。果。百。祥。
 告。禱。尚。知。食。
 一。大。祥。の。後。一。月。會。て。禱。の。ま。う。り。と。い。ふ。也。
 一。大。祥。の。後。一。月。會。て。禱。の。ま。う。り。と。い。ふ。也。
 一。大。祥。の。後。一。月。會。て。禱。の。ま。う。り。と。い。ふ。也。

九月廿七日。同日と陰と廿七ヶ月也。
一前月の下旬。本月禰家の日と云ふ事。
だじりあり。卓子と祠事。門口より。まじり。まじり。
り。香燈。各合。探探あり。ひよ。燈と。並。主人。見。
才子法。祠堂。乃。つ。ゆり。も。香。燈。と。帳。主人。
多と。た。探。探。と。香。の。網。り。も。ま。て。来。將。以。
本月某日。禰。禰。禰。禰。於。先。考。某。官。府。某。
尚。祭。と。つ。ひ。て。探。探。と。燈。乃。ら。ま。り。あ。ふ。り。も。
う。は。あ。と。り。の。仰。く。と。れ。本。月。上。旬。入。ら。し。と。香。
日。し。ん。あ。り。香。方。り。付。父。あ。げ。と。本。月。中。旬。乃。
う。ら。と。あ。り。心。又。う。香。る。り。付。父。あ。も。て。本。月。下。旬。の。

うらと。あ。り。心。又。う。香。方。り。付。父。あ。げ。と。本。月。中。旬。乃。
ひ。と。禰。家。と。り。あ。り。つ。え。ら。の。あ。り。し。て。香。日。成。
え。て。先。考。の。神。主。れ。あ。り。し。つ。と。れ。ね。し。ひ。ご。ま。
づ。と。香。と。り。ま。り。也。昔。と。曰。香。子。某。將。以。本。月。某。
日。禰。禰。禰。禰。事。干。先。考。某。官。府。某。下。院。の。香。
敢。告。と。り。ま。り。也。乃。香。と。り。し。つ。と。れ。ね。す。り。時。事。
よ。ら。り。あ。り。た。み。を。れ。ね。す。り。あ。り。探。探。と。は。探。探。
と。も。同。く。と。り。香。の。あ。り。あ。り。と。り。の。あ。り。ゆ。り。也。
一。お。日。は。法。儀。神。乃。香。と。り。し。つ。と。れ。ね。す。り。の。あ。
り。ま。り。あ。り。香。と。り。し。つ。と。れ。ね。す。り。の。あ。り。也。大。祥。
乃。儀。式。の。あ。り。し。て。卓。一。脚。と。あ。り。の。あ。り。也。

九月廿七日

廿七

一禪系乃日たわつまとあと祝ひま。大祥の
 儀式のよりま。ま今下奉儀と稱し祠堂より
 つつと者とたとひとゆつとて告ぐ曰者子某
 將往禪事。敢請先考神主。お祀の儀
 とまし祀ねとれ。祝神主此禱とあ儀の卑
 子のよりとと神とあといて。まとあといて。ま
 聖位下つつ先主合下は乃ととあといて。ま
 家とあげ神ととあといて。まとあといて。ま
 喜とあげ喜とりと。祝文とあといて。ま
 神主と祠堂とあといて。まとあといて。
 一禪系乃祝文

維

〇〇年歲次月朔日辰孤子某敢昨告

于

顯考某官府君神主。禪制を期道を
 及。禪の儀。敢請先考神主。尚儀。則
 改稱先考某
 對某氏一
 一禪系乃日わつとあと祝ひま。大祥の
 儀式のよりま。ま今下奉儀と稱し祠堂より
 つつと者とたとひとゆつとて告ぐ曰者子某
 將往禪事。敢請先考神主。お祀の儀
 とまし祀ねとれ。祝神主此禱とあ儀の卑
 子のよりとと神とあといて。まとあといて。ま
 聖位下つつ先主合下は乃ととあといて。ま
 家とあげ神ととあといて。まとあといて。ま
 喜とあげ喜とりと。祝文とあといて。ま
 神主と祠堂とあといて。まとあといて。
 一禪系乃祝文

附乃子の心りてはく事と云ふ也祖考の神
主に昔より一徳の廟よりなりと云ふ也
乃神をふつぐあまはげ廟よりなりと云ふ也
くハ附家の乃徳りカニナリ。右唐卒突附
一喪服少終の毎より家ハ婦ハ祖姑ハ附する也
祖姑二人ある時は是より附と付する也
二人とははげ月二人終人也是より是より是より
生るは母と云ふ也

一諸節より家ハある人同其存生乃これ其死
すうと此乃神主ハ何人の奉祀とすべしと云ふ也

右附

一朱子此の事ハはるに書はるもこの事ハはる
勢て。も。あると下ハ書ま。と。ありと。なり。又。同
孫母乃肉子と生る母死する時ハ神主より記
する也。何とす。く。は。る。の。あり。と。も。あり。と。も。や
と。朱子乃ハ家ハ婦子乃母ハ家ハ一様なり
事ハあるは。姑。より。書。て。婦。母。の。事。あり
と。す。る。也。程。侯。ハ。乃。ハ。家。ハ。孫。の。事。あり。と。も。あり。と。も
と。つ。か。と。つ。の。也。 右附
一男子同の節より家ハ男子同あり父母一なる也
死するもこれづらきと云ふ也。づらきと云ふ也
孔子云く。て。は。く。事。ハ。喪。が。り。と。云。ふ。也。

一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし

一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし
 一 葬 乃 記 乃 篇
なごころのしるし
 葬乃記乃篇なごころのしるし

母の喪れ振とつとどぐ。徳父え身の喪あり
 とつた父母の喪りあつたふ何ハ徳父え身の
 喪とのそく時徳父え身の喪振とあつと。これ
 と振らひ終りて。父母れ喪振と服する也。母の
 喪りのまじき葬らひて。まじりあつたえ身れ
 喪とや時節のあつて笑し。まじりて葬らひ
 の服とよそで父母の縁し。ころやり入て葬らひ
 ろんおつりて。おそ中喪服とよぎ。え身のたえんふ
 素服とあつと。別乃あつて笑と。服のたえん
 喪とあつと。笑する時あつと。あつて笑と。あつと。あつと。
 朱子よまふい。この喪れと。又期乃喪あり

人期乃喪れ振と振て。期乃喪とほく先事
 たりつ時り。とど先の喪振とあつと。あつと。あつと。
 と或はのあつと。あつと。あつと。あつと。あつと。
 振とあつと。あつと。あつと。あつと。あつと。
 去乃あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。
 喪中此のあつと。あつと。あつと。あつと。あつと。
 喪とほく。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。
 八期乃喪と下乃親親。月較あつと。時ハ振と除也
 中六 改葬のあつと。あつと。あつと。あつと。あつと。
 改葬のあつと。あつと。あつと。あつと。あつと。
 中 出葬する時ハ。葬のあつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

とこれ先葬のとき地とさるひ楯とさるのこ
る父のた先葬のまのた先よ。徳麻乃楯と
らふ。さ卯乃親敷のみあまらふと楯とさるらふ。
つごふ大敷乃床布後念衣とさる女大輦
幼布幘れ敷とさるら目とさるひて古裏衣
なり。古地とさるら楯とさるて。灰福とつるあ也。
ま次才みあくさ下先葬のまの儀武の
や。

一古儀のまらふ事。礼とねあまのま人形と礼と
してまらふ事。若らま若礼と服とて存は
執事此とまらふに礼ねとあ。はまらふとあひ神

位乃あまらふ事。礼とねあまのま人形と礼と
扱事一のま一人酒とさるら西よひらひて礼と
はらひて人さるらまとおてひらひらひて礼とま
はらひて。若らまのまらひまらひ。酒とさるら下
まらふらとさる酒とすにじらら神位乃あまらふ事
也。又利り酒とさるら神位乃あまらふ事。まらふ事
し。まらひとさるら。礼とねあまのまらひらひて
礼版とさるらとさるら。まらひの存はらふらと礼
ねとまらひ。礼とねとさるら。まらひの式は。

維

〇〇年歳次干支。幾月干支。朔越未日

千支某官姓名。敬昭告于

土地之神。今為某親某官。姓名宅兆。不刊。

將改葬。於此。神某保佑。俾無枉報。謹

以清酌脯醢。祗薦于神。尚饗。

一前自。祠告。少つ。ふ。ま。事。男。い。た。女。は。右。ま。ま。り。て。祝。檮。と。せ。さ。あ。た。た。免。葬。ふ。そ。志。乃。神。ま。と。ら。り。物。一。と。お。と。あ。神。と。降。一。ま。人。ま。と。あ。り。い。者。あ。る。乃。あ。り。つ。つ。い。じ。ま。ら。う。と。香。と。そ。ま。は。り。酒。と。ら。て。常。沙。の。ら。よ。う。い。ま。け。れ。お。成。め。ま。人。酒。と。ら。て。ま。あ。ま。と。そ。ら。て。二。今。ま。た。礼。ね。一。ま。婦。へ。り。乃。存。ま。ら。り。ま。人。い。ま。ま。う。あ。て

そ。に。い。ま。ら。う。づ。げ。さ。ふ。と。く。あ。ま。某。乃。あ。り。け。り。あ。よ。う。と。あ。ふ。ら。う。く。あ。あ。あ。乃。言。あ。り。そ。ま。ま。と。あ。ひ。げ。月。哉。目。よ。そ。こ。乃。あ。り。あ。た。た。免。葬。ふ。と。ま。て。ま。い。ひ。れ。ね。一。り。い。た。ま。よ。う。つ。と。て。ま。と。お。と。ま。一。神。ま。と。れ。さ。ひ。ら。つ。と。ま。は。概。事。の。名。古。墓。乃。所。り。と。ひ。て。白。と。布。着。一。と。ら。り。男。女。乃。居。あ。と。か。ま。く。ま。海。く。乃。南。の。方。よ。入。口。と。あ。け。く。ま。ト。ふ。け。り。と。あ。ま。ま。也。げ。ゆ。ら。日。給。親。敷。み。あ。墓。ま。と。う。ま。と。乃。く。我。居。所。り。つ。あ。て。ま。人。い。細。麻。乃。服。と。あ。く。一。ま。あ。は。み。あ。ま。祭。と。あ。て。男。乃。墓

乃ひぐに居て西よむらひ。女は暮乃あま居てひ
くふじくひ。さる小丸とてしして居てはぐさく
哭し。暮とあま也。婦人の布乃帷とてしして
うらふ居て哭する也。ひり後ち地とぬつるその
儀式ありあじし。其儀文の式はハ

俱同品 茲有某親某官下宅茲地。思之地
但改云 患將啓靈之靈於地一所。僅以清酌脯醢
祗薦於神。神其佑之尚 鄉食。

下位居てひりあま也。まゝ今下並居て暮とあ
ま。暮おひりく礼ねとあ。暮乃あまひりく
ひごまづら。香とたま。酒と地よそくな。之酒と

そるて。暮とあ。ひり居てひりく礼ねとあ
うりして暮とあ。某乃官某の人のあ。地よ暮
ひ。年乃暮り。暮とあ。神安穩あり。とらひり
ふり。とあ。た先とらひり。あ。てひり。分る。ま
ま。暮とあ。ひり。暮とあ。ひり。てや。礼ね
して。とらひり。暮とあ。ひり。てや。礼ね
ひり。とらひり。暮とあ。ひり。てや。礼ね
暮とあ。ひり。暮とあ。ひり。てや。礼ね
乃今り。とらひり。暮とあ。ひり。てや。礼ね
ひり。とらひり。暮とあ。ひり。てや。礼ね
く。とらひり。暮とあ。ひり。てや。礼ね

と二脚あり一脚少は蓋は海苔箱と蓋一膳
 一の菓子と飯と蓋も飯式つひろびしごと
 自ら礼ねと所一人番衆のあつてつひろび
 まつてと者たまは海と草州のらよそと又
 海とそめ礼ねとあつてまづるをわけて蓋と
 まつるありつひろびに役命あつてつひろび
 箱と番衆れ命
 ありかきす人あつて海と箱のらよそと又
 箱と箱の外へつひろびと概事れ命飾乃床とわ
 たししと箱のあよものうも床のらよそと蓋
 飾乃後乃らつひろび布乃後とまあり換乃後乃
 蓋乃後乃らつひろびに子の被とまこと乃を

箱とつひろびあつてつひろびと箱とつひろび
 床は入つひろびありまそ概事れ命飾乃床の蓋
 とあつてつひろびとつひろびとあつて蓋乃床の上
 へつひろびと蓋とつひろびとあつて蓋とつひろび
 中も也飾乃らつひろびとあつてつひろびとあつて
 布乃後乃らつひろびとあつてつひろびとあつて
 蓋の後とつひろびとあつてつひろびとあつて
 女もつひろびとあつてつひろびとあつてつひろび
 蓋とつひろびとあつてつひろびとあつてつひろび
 箱乃らつひろびとあつてつひろびとあつてつひろび
 箱乃らつひろびとあつてつひろびとあつてつひろび

乃眞とあすつらありつぎに柩と大葬のよき
 程つげてまふ今日つと大葬のよき
 て又眞とまふあやも柩つとひとり
 以下存よつと存とあけ。後まふあやひき
 へた。酒とくまてひきゆつと。若てつと。大葬
 への勢であつと。まふあやゆくとつと。礼ねと
 あやめつと。まふあやつと。あやめつと。大葬
 ひとに男女哭つと。まふあやひきあり。まふあや
 へて。若て死つと。何あやつと。あやめつと。大葬
 柩のまふあやめつと。まふあやつと。あやめつと。大葬
 あやめつと。まふあやめつと。あやめつと。大葬

あつと。早子とまふあやめつと。あやめつと。大葬
 柩とあやめつと。あやめつと。大葬
 柩もあやめつと。あやめつと。大葬
 して車。まふあやめつと。あやめつと。大葬
 まふあやめつと。あやめつと。大葬
 女はあやめつと。あやめつと。大葬
 一あやめつと。あやめつと。大葬
 本とあやめつと。あやめつと。大葬
 て柩とあやめつと。あやめつと。大葬
 あり。あやめつと。あやめつと。大葬
 つぎに眞とあすつと。あやめつと。大葬

たかたげまき也。但今為某官建茲宅兆神祀
の十字とかゆづり也。とてふさうしりたりて
く。の盡た乃おあて。虞はまつりともふ也。ま
物ささぐ。先のぶくとさびまわりの。主命不
並たて喜とわけ。喜たりり。神と後。おと
わらひ。香樂乃およ。つまてのびまづき。喜とた
てまわりの。おとさ。礼ねと外。り。さ。ま。は。
つと。饗とも。め。あ。也。神祭の礼。ま。つ。お。紙。
そ。ま。ま。け。と。め。礼。文。と。さ。て。礼。ね。外。と
乃。た。り。と。あ。也。西。祭の礼。お。け。と。さ。ま。は。紙。
その。へ。と。ね。する。也。終。祭の礼。お。と。さ。ま。は。紙。

そのへて礼ね。食とそ。あ。茶とそ。あ。て。こ
ね。礼。文。と。さ。り。礼。文。と。り。也。さ。礼。文。
の。式。は。
維。

〇〇年歲次。月朔。日辰。某親某故。昨告。

其親某官府君新設宅禮。午。終。虞。風。
教。鹿。寧。帝。那。固。極。禮。以。清。酌。虞。羞。祗。
薦。虞。事。尚。饗。會。
一。虞。乃。ま。わ。り。たり。り。と。を。さ。た。と。ま。り。て。ま。り。ひ。下。別。
の。あ。よ。お。て。細。麻。乃。服。と。め。さ。は。素。服。と。さ。て。あ。ひ。

大口歌九六

廿八

此の禮。初。葬。不。告。多。也。一。先。初。葬。より。二。家。依。
式。と。大方。む。あ。い。事。也。づ。げ。て。子。孝。終。せん。が。
一。告。と。今。某。親。某。官。と。う。じ。り。た。い。う。う。う。に。
よ。い。て。と。月。某。日。某。の。と。う。ろ。あ。た。め。葬。を。と。
ま。て。礼。お。り。あ。也。

改葬之論

喪。服。礼。乃。篇。の。家。改。葬。の。時。細。麻。と。布。
と。ふ。と。う。り。ほ。い。葬。あ。る。い。ら。う。ま。あ。ら。い。と。え。
と。あ。り。え。改。葬。を。も。と。う。か。ん。葬。の。時。の。ご。じ。
細。麻。と。布。と。ふ。と。は。子。の。父。の。た。ん。葬。い。ま。を。
た。ん。う。り。能。と。う。也。戸。と。う。ら。い。下。葬。禮。と。う。

カ。の。細。麻。は。三。月。あ。て。論。也。

一。葬。の。の。家。改。葬。の。時。廟。告。て。ま。た。
古。墓。より。告。古。墓。と。り。て。お。し。し。墓。を。
葬。り。と。お。り。と。葬。と。し。て。家。より。つ。と。あ。
う。つ。て。又。廟。告。哭。て。後。事。と。て。ふ。と。や。
う。あり。葬。り。と。た。ら。あ。れ。が。あ。ら。い。と。し。と。し。
と。あ。ら。い。と。し。と。し。と。し。と。し。と。し。と。し。と。し。
葬。七。地。を。て。外。と。う。と。あ。ら。い。と。し。と。
う。い。あ。ま。し。

一。地。を。あ。り。て。死。し。ら。の。も。他。式。と。う。ん。て。後。
ふ。と。う。と。笑。奠。ま。て。み。あ。あ。け。と。う。と。い。也。禮。は。

妻礼のきりかたこころづきに極く入てのら妻
 礼のるを大擧功布あつびあるをいこ
 一らふまかゆふおれ具の家よりりてと
 のふ。おまはあふ目と定めく。お座よえ
 の友会はるるあつてあやゆり目おの朝奠
 とまゆてまじりてお座よりりてあやと
 ひりさるあよつてあやゆり。妻礼とあや
 のおれくつお座よりりて。お座よりりて
 らひあやとあやゆり。お座よりりて。あ
 今まおとあやゆり。お座よりりて。あ
 くらんとあやゆり。お座よりりて。あ

つきに親親おとあやゆり。お座よりりて。あ
 けつあやゆり。お座よりりて。あ
 あはあやゆり。お座よりりて。あ
 けつあやゆり。お座よりりて。あ
 一聖日乃朝奠とあやゆり。お座よりりて。あ
 のまらあやゆり。お座よりりて。あ
 大擧と庭よりりて。あ
 そあやゆり。お座よりりて。あ
 つきてあやゆり。お座よりりて。あ
 のまらあやゆり。お座よりりて。あ
 とあやゆり。お座よりりて。あ

大奉一よのせ。由家つここのおどとそあま主人
ひつこよまふて哭一のせおつらとんて共泣
りあれつ。

一敷川の事。昔といた。女は太。ひつこらあよは
しり行あり。陸化ままは人乃まこあよていさふ
のつ。毎海ままは舟一のあり。舟おの家財
ハ家産とまも。秘授と直。約々哭真まは
申きあの御。さうあ。陸化のつた。合符に
とにやだりうて。真とそめおつらうくつら
ぶらあ目よ。くつらうてまら。執事よ。あま
れ目とま。家とま。二つら。たど。わて。悔と

らり。真とそめて。ゆ。む。ふ。あり。ひつこま。あ
つこ。あ。ま。の。親。お。お。の。人。と。の。く。を
の。ま。が。指。と。ま。の。悔。の。や。う。う。よ。う。つ。ま。て。哭
ひつこらま。つと。ゆ。ま。あ。あ。也。極。と。あ。り。う。つ。ま
て。ま。つ。つ。ま。と。ま。を。お。お。の。人。向。の。指。と。ま。を
た。う。つ。つ。ま。ま。あ。あ。げ。秘。授。と。あ。い。ま。ま。と。な。ま。海
と。ま。と。ひ。ま。あ。つ。ま。て。つ。け。う。う。ま。に。ま。ま。車。を
く。の。ま。と。あ。ま。よ。う。さ。ん。ん。親。お。あ。り。て。む。ま。ま
て。ま。ね。ま。ま。ま。不。男。は。女。は。右。乃。方。ひ。つ。ま
の。海。う。つ。つ。の。く。遠。お。う。て。ま。ま。ま。ひ。ま。ま。う。う。ま
な。り。

七ノ家系

四十一

一 柵家^{さく}なりつてふとれをその亡志^{しん}結^{むす}成^{なり}又ハさるるか
あはれ中門^{ちゆうもん}より入^い柵^{さく}と家^け中^{ちゆう}より在^あり柵^{さく}成^{なり}
まうしてふとれは後^ごつらふ入^いりて。まてはありと若^{わか}
所^{ところ}なりとあり。中門^{ちゆうもん}からせ候^{こう}門^{かど}は柵^{さく}の門^{かど}也^{なり}
亡^し志^し乃^の家^け中^{ちゆう}にまてありて。柵^{さく}乃^の門^{かど}はひりつと
入^いり。まてはありと。まてはありと。柵^{さく}乃^の門^{かど}は
外^{そと}なり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
此^{この}時^{とき}に。門^{かど}のむす。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
ひらて。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
あ。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。

多^{おほ}なり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
や。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。

一 親^{おや}親^{おや}はひ。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
の。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
柵^{さく}の。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
装^ま乃^の。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。
さ。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。まてはあり。



The first of the year
 was a very cold day
 and the snow was
 very deep. The
 wind was very
 strong and the
 sun was not out
 at all. The
 people were
 very busy and
 the work was
 very hard. The
 day was very
 long and the
 people were
 very tired.

大和...

一五二八

